

第2回むらびと会議 会議録(出された意見)

意見等	
1.議会の機能	
1	議会の情報が少ない。発信方法など考えてもらいたい。
2.村民の皆さまとの距離感	
2	ワインまつりへの議員の参加が少ないと思う。イベントは色々な声を聴く場であり、気持ちを感じてもらう場もある。会議等々の日程調整をしながら顔を出してほしい。
3	議員の顔や活動内容が見えない。議会に対して気持ちが薄れていく。
3.政策立案	
4	普段あるいは一般質問など、議員はどういうところから住民の声を拾っているのか。
5	一般質問は楽しくない。つまらない。軽いノリが入ってもいいのではないか。笑いとか。
6	一般質問の答弁で、検討が多い気がする。議員は、それについてその後どうしているのか。
4.定数・報酬・成り手不足	
7	年齢の高い人が中心になって活動していること自体疑問 (←経験も知恵もあるからよい、現役世代とのずれを感じる) この世代が立候補しやすいように活動内容等をもっと出してほしい。 (←生活や育児などの注力したい時期) 報酬も気になる (←安定感や仕事の都合などを考えるとサラリーマンでは困難かも)
8	定数削減をいう人が多い→民主主義の観点からはどうか→諸刃の剣になるのではないかと→多くの問題を含むので慎重に。
9	勤め先が村外→村の情報も入らないし、活動も会議にも参加していない。そのために時間もない。立候補しても周囲から認めてもらえないのではないかと(20代)
10	(女性議員が少ない) 村の風土、気風で、女だてらにという方がいる。根底から意識を変えてもらわないといけない。
11	(宮田村議会の女性議員が少ない) 村の風土、気風で、女だてらにという方がいる。根底から意識を変えてもらわないといけない。
12	(宮田村議会の女性議員が少ない) 区の役員をしているとき、ある会のやり方について意見したら、白い目で見られた。そういったのも原因の一つであろう。
13	(宮田村議会の女性議員が少ない) 村内に女性議員を増やすことを考えなくてもいいのではないかと。外から意見したりして、提言もできる。
14	議員の成り手不足について 夜間議会や誰でも出やすくする環境を作ったらどうか。
5.その他	
15	子ども議会は村、議会への関心が高まる。学年を広げたらどうか。
16	傍聴にもっと来てほしい。来てくれる策を考えて欲しい。
17	(移住者のコミュニティが少ない) ・村のフォローが少ないのではないかと。
18	(移住者のコミュニティが少ない) ・村に頼るのではなく、移住者の誰かがリーダーになって、コミュニティを自身で広げたらどうか。
19	(移住者のコミュニティが少ない) ・移住者に対し、来た人ばかりではなく、出ていく人の原因など調べたらどうか。